



体位変換補助パッド TN1212

2011年 日本褥瘡学会発表商品

三次元立体構造編物を使用したベッドパッドから 体位変換補助パッド開発と使用について

鶴川サナトリウム病院看護部栄養支援統括委員会

小倉加代美

鶴川サナトリウム病院内科・褥瘡対策栄養支援統括委員会

藤澤 靖彦

はじめに

2004年に皮膚表面の湿潤改善を目的とし、FUSION® (三次元立体構造編物)を用いたベッドパッド、シーツレス床ずれナースTN1400TWを「旭化成せんい株式会社および黒田株式会社」と共同開発し、導入している。自力での体動が困難な患者は、体位変換や移動の介助を容易にするため、当院でも、従来よりバスタオルを用いていた。しかしこれではTN1400TWの効果が減弱してしまう為、同素材でバスタオルサイズの体位変換補助パッド®(TN1212)を、同社と協同開発し、導入したので報告する。

アンケート項目(5項目)

患者への効果

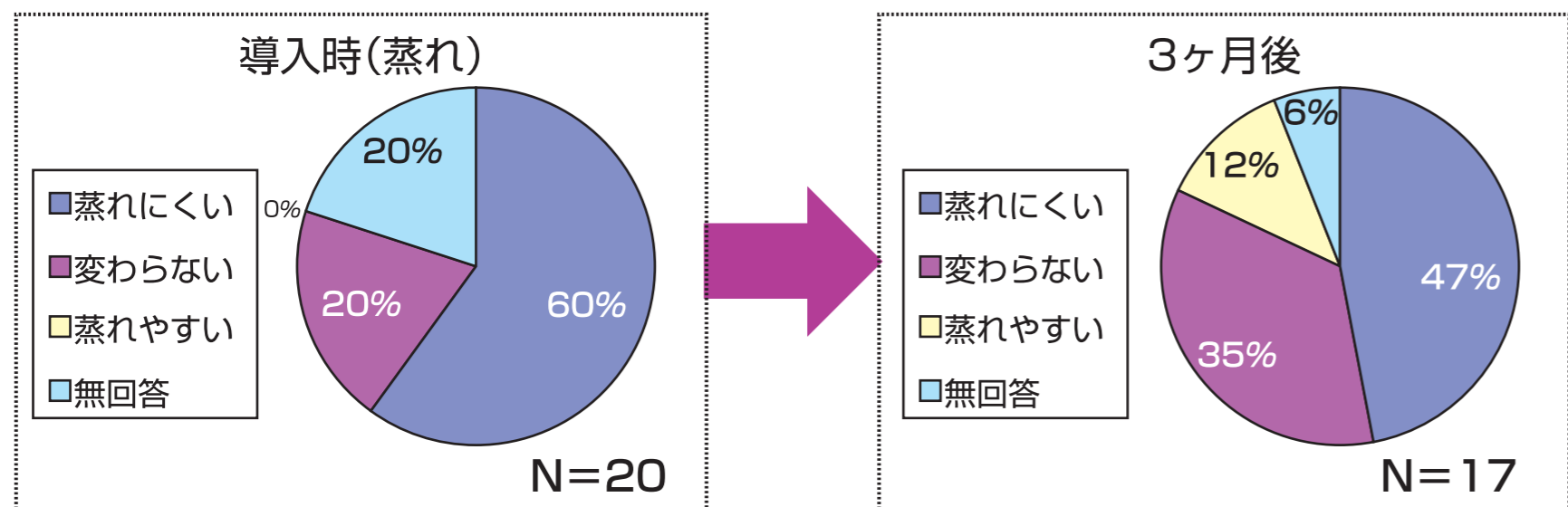
- 湿潤軽減効果(バスタオルと比較して)
- しわの入りやすさ

使い勝手について

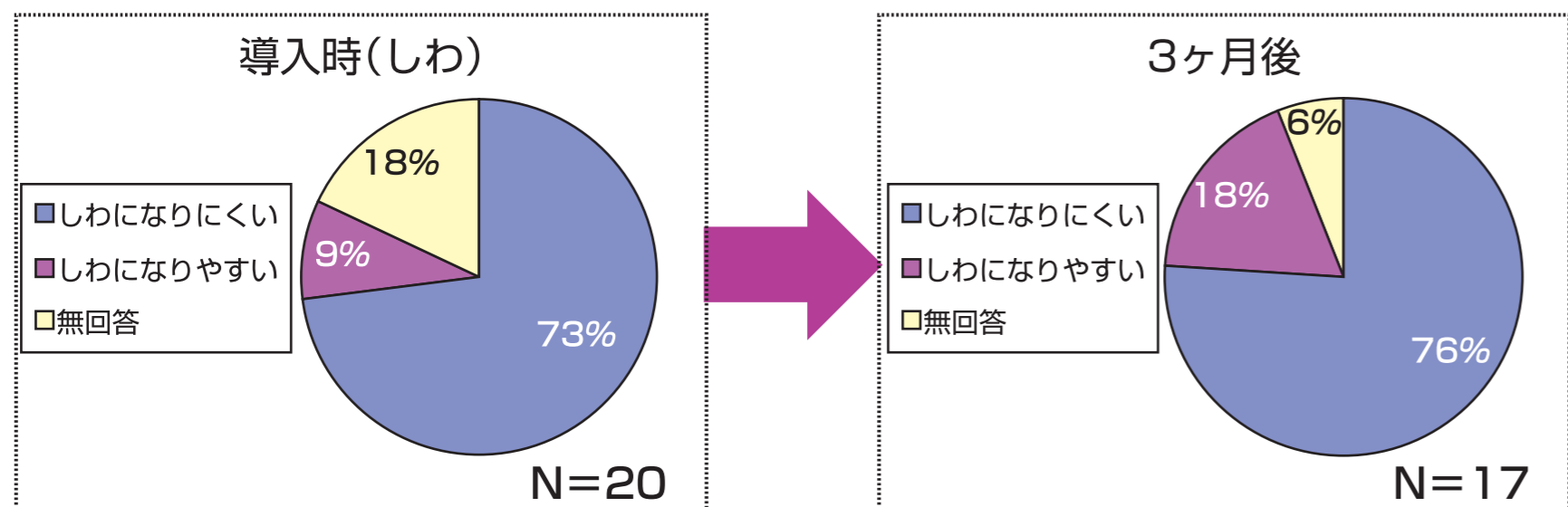
- 体位変換や患者移動
- 耐久性(ヘムの強度)
- パッドサイズ

患者への効果

湿潤軽減効果(バスタオルと比較して)

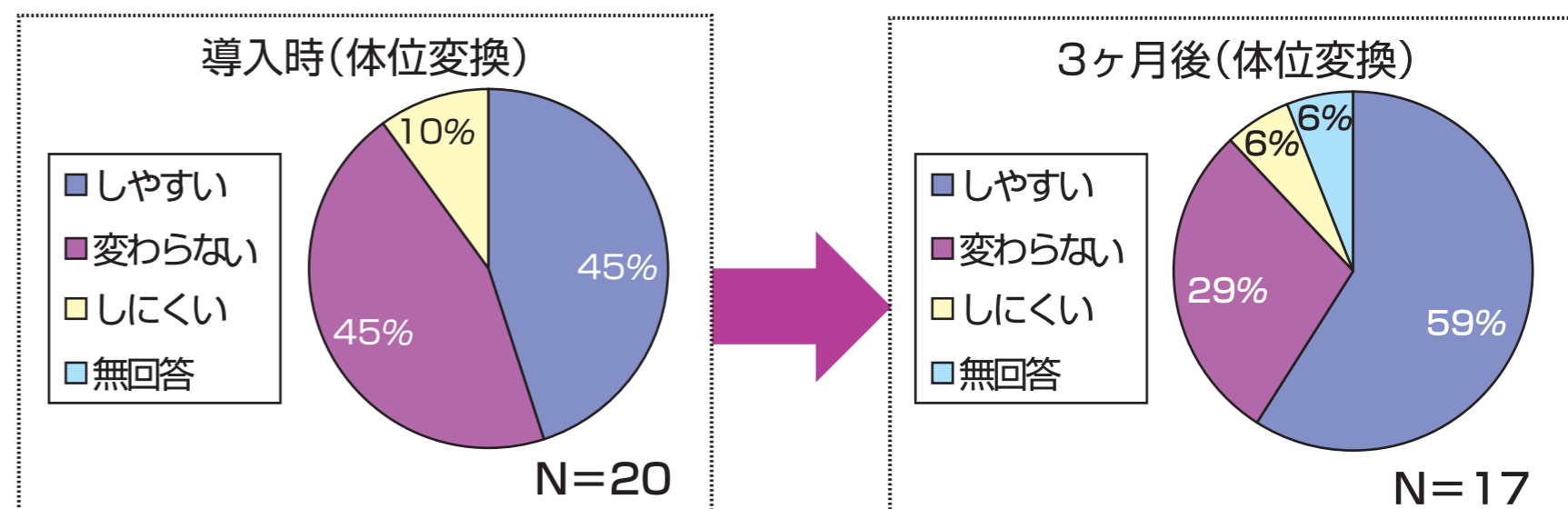


しわの入りやすさ

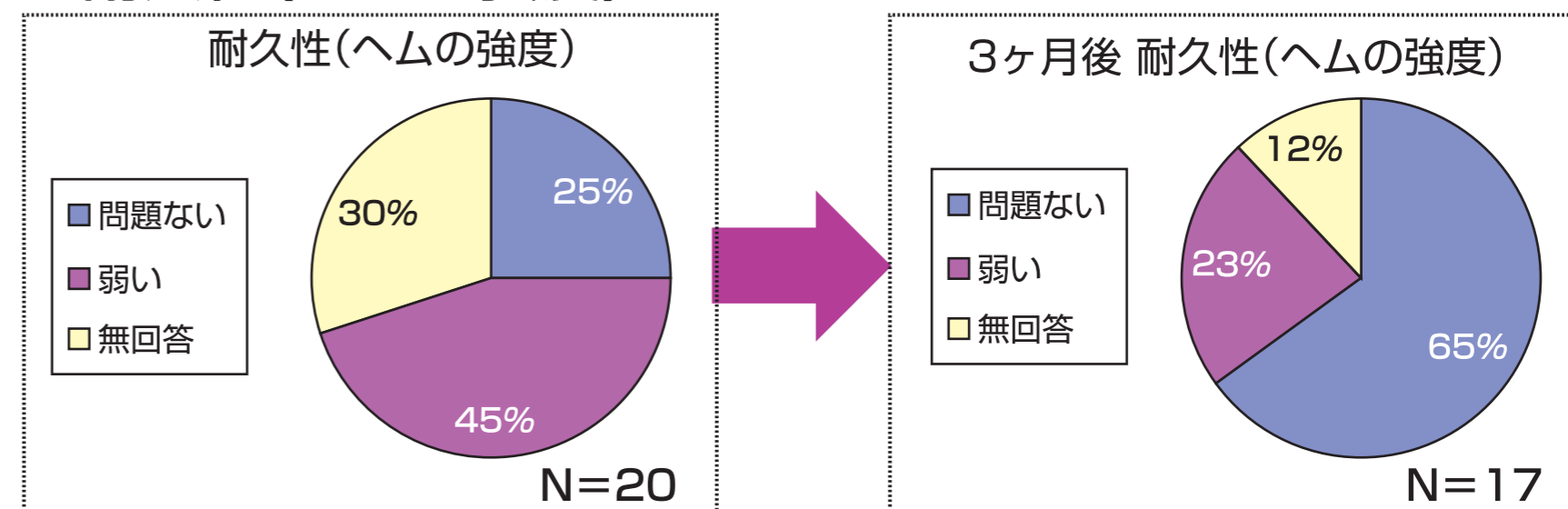


使い勝手について

体位変換や患者移動



耐久性(ヘムの強度)



考察

- バスタオルは一般に綿製であり、綿は吸湿性に優れているが、長時間臥床状態の環境下では、吸湿が飽和状態となり、湿潤状態が持続してしまう。一方、FUSION®製のTN1212は、空気の層ができ、ムレが軽減し、湿潤による皮膚の脆弱化を予防できると考える。
- ずれ予防を目的とした編物であるため、滑りやすさが課題であったが、現在新たな織り方に改良され、改善可能ではないかと考える。
- アンケートの結果からTN1212は、全項目で十分な満足度を得られており、耐久性もあり、乾燥も速く、長期使用に耐えうる。総購入枚数も、入院患者数に達しており、必要なケア用品と認識されていることが窺われる。

まとめ

褥瘡予防には、圧迫・ずれの排除、スキンケア、栄養管理など様々な配慮が必要である。

軽減に対する対策は重要である。

FUSION®を使用した体位変換補助パッドとベッドパッドの併用は、皮膚表面の湿潤を軽減し、褥瘡を予防する有用なデバイスの1つであると言える。